# アレルギーと住宅を考える会

研修会&会員の集い 東京 2019

## 7月13日 ± 13:30~19:00

会場:東京大学 弥生キャンパス内(東京都文京区弥生 1-1-1)

世界一のアレルギー大国・日本!

アレルギー、化学物質過敏症は、現在の住宅に対する自然からの警鐘 住宅パラダイムシフト 健康は住まいで決まる

## 講演 木の家の良さのエビデンス 木の空間の快適性増進効果

#### 恒次祐子博士 東京大学大学院准教授

研究テーマ 生理応答を用いた環境の快適性評価。木材利用による地球温暖化防止効果の定量的評価

1997年 東京大学卒業。1999年 同大学院農学生命科学研究科修士課程修了。1999年 農林水産省 森林総合研究所入所。2010年国立研究開発法人森林総合研究所主任研究員。(併任千葉大学大学院園芸学研究科連携客員准教授)。

スギやヒノキなど、木材には癒し効果や免疫 力向上などの効果があります。恒次先生は、 視覚・嗅覚・触覚など、木材が心身に与える 影響を科学的な実験を用いて実証されていま す。木材の利活用が健康増進や地球温暖化抑 止になるなどのお話をいただきます。



### 講演 アレルギーはなぜ増えたのか? 予防と改善のアプローチ

#### **鈴木正夫博士** ㈱構造機能科学研究所代表

専門 皮膚医科学、脂質科学、超分子科学、界面科学。皮膚医科学の研究において経皮感作を予見。1999 年、アレルギーの予防と改善を目指して広域大学研究者連携ベンチャー・(㈱構造機能科学研究所を設立。以来、スキンケアなどを追究。

50年前には殆どなかったアレルギーが、今や日本人の罹患率は5割にも達しています。特に乳幼児に多く、子育ての悩みや少子化の

一因にもなっています。アレルギーの急増は、「経皮感作」が主な始まりになっていることが明らかになり、スキンケアの重要性がクローズアップされています。本講演では、経皮感作とアレルギーの予防と改善のアプローチなどの解説をしていただきます。



#### パネルディスカッション&意見交換会

- ・神﨑降洋・東京支部長「いい家は無垢の木と漆喰で建てる」著者
- ・山本哲也・富山支部長「断熱で日本を変える・脱 24 時間換気」著者
- ・川田季彦・コーディネーター 「子供たちに伝えたい家づくり シリーズ」 著者 日本人の5割がアレルギー、子供は6割という異常事態です。当会では、曖昧に されているアレルギーと住宅の関係の解明に取り組んでいます。ここでは、アレ ルギー改善と予防の家づくりのプロからお話をいただきます。また、ご来場の皆 様のとの意見交換を通して、より健康に貢献する家づくりを追究しましょう!

### 実験報告

「カビ実験による最適環境を 保持するための建材に関する研究」 発表:宮本昌吾・尾道支部長

住宅建材が人体に与える影響 他

参加費 5,000 円 懇親会費 5,000 円 (研修会終了後に近隣にて)

申込み・問合せ:川田建築設計事務所 川田季彦 E.mail: kawada@ic-net.or.jp 山形県酒田市山居町 1-3-19 Tel: 0234-23-4237 Fax: 0234-21-2108

主催:アレルギーと住宅を考える会 http://www.kenchiku.gr.jp

実行委員会:関東・東北エリア 実行委員長 大山研 (朝霞)

後援:NPO 法人 埼玉住まいの情報ネットワーク ムクの木会 他

